

統計課アラカルト

商工統計係の巻

統計茨城48年10月号から始めた本稿も3回目を迎えたが、今回は商工統計係を紹介しよう、この係は通産省統計全般をその業務としている。昨年は、工作機械設備等調査、サービス業実態調査、世界鉱工業センサス等を実施したので御苦勞をなされた方も読者の中には多くおられるのではないかと思います。前置きはこれぐらいにして、係のトップは井上瑞穂係長。水戸市見川町に居を有し、統計課は45年からで4年のキャリア。碁、将棋、麻雀となんでもやるが勝つた事がないとは本人の弁。最近では齡のせいとか、好きなつりもやめて、もっぱら酒と園芸とか、やはり戦前派争えないものらしい。

瓜連町の八重桜で有名な静神社の近くに最近まで住んでいた斉藤昭主幹。仕事でも工業統計の神様と云われるほど、この道のベテラン。今では商工統計係の最古参。専売公社が喜ぶようなヘビースモーカーである。常陸太田市に生を受けたが、現在家賃だけは高級マンション並みの借家住いとか。目下マイホームの建築にとりかかろうとしているが、この物価高騰の折、どんな家が建つか心配ということだが、本人の顔をみればそんなことはどこ吹く風といったクールな感じ。これも中年の魅力か。

毎月商業動態統計調査を担当している菅谷松枝主事、水戸市のはずれ見和町から通っている。本人のいうことには仕事は人生の8割、あとの残りが自分の生活とのこと。趣味は手芸と至って女らしいところもあるが筆者の見るところ彼女がいないと商工統計は火が消えたよう。統計課数少ない女丈夫の一人。

4人目の登場は、商業統計調査を担当している小沢邦

昭主事、法政大学法学部を卒業、行きつくところは統計課と去年6月に当課へやってきた。趣味はテニス、野球と野外のことなら何でもやる由。近ごろは王侯のスポーツ、ゴルフも始めたとか。残念ながらハンデイはききもらした。統計業務については意欲満々、昨年9月には通産省実務講習、今年は3月まで自治大学校の電算課程を受講中。

笠間稲荷のおひざもと笠間市東町から毎日朝夕水戸線の花を見ながら通勤している菌部勝一主事、仕事は生産動態統計、繊維流通統計調査、特定サービス等実態統計調査を担当しているたぐいまれな好青年。好きなことは自然科学を勉強することとか。読者の中にもたまにラジオで「南鳥島では北北西の風、風力5、晴しなどと放送しているのを聞いたことがあると思いますが、あの気象学、気象通報、統計課職員、数ある中で気象通報をラジオで聞きながら天気図を書けるのは菌部主事だけであると思われる。今年は明治31年気象庁開設以来のカラカラ天気。ちなみに前回の雨なし記録は昭和14年12月17日から昭和15年2月1日までの47日間とは本人の学識の一片。

生産動態統計調査を担当している綿引健二主事、家族5人で市内上水戸に住んでいるが、趣味は貯金というほどの堅実家、酒、タバコ、女と金のかかることはあまりやらないので、お金が残って使い途に困り家を新築して、この1月末に転居したばかり、勤勉、実直、無口で世の中のあらゆる美点をもちあわせているとか、ただしこれは本人の言葉で必ずしもあたっていない点大いにあ

り。テーブルテニスの実力は課内はえぬき!!

那珂郡大宮町からマイカーで通勤している大貫普平主事、仕事のことはいざ知らず、彼氏ほど諸芸に秀でていく人もめづらしい。将棋、碁、麻雀、パチンコ、水泳、映画、マンガ観賞とつきあいにはこと欠かないが、当の御本人は、酒、タバコをたしなむ程度。無口で目立つことなく、何となく生きているうち、早や、馬齢も27年を越え空しさを感じる昨今とか。そろそろ嫁さんが欲しく

なってきたのだろう。読者諸嬢のなかで将来の大穴に賭けるつもりの方は応募歓迎します。

機械器具流通統計調査を担当している前沢克美主事、那珂郡那珂町から通っている一見おとなしい好青年、趣味、その他特になく仕事一途に生きる男、以上が商工統計係8名のプロフィール、今回は労働統計の巻を是非お読み下さい。



短評・たんびょう・タンピョウ

3月3日は、「おひなまつり」で女の子を持っている親にはうれしかったり、頭が痛かったりの毎日が続くのではなかろうか。「おひなまつり」は元来は「上巳(じょうし)の節句」といって旧暦3月の第1番目の「巳」の日でした。この行事は、もとは中国から渡来したもので、日本では文化・文政の徳川時代に將軍家大奥で流行したのをみならい、民間でも盛んになったものといわれます。別名「桃の節句」ともいうのは丁度この時期に桃の花が咲くのでというのが有力な説です。この日はひな

壇をつくり、内裏様を上段中央に、三人官女、五人ばやし、矢大臣などを並べ、白酒を飲んで女の子の将来を祝うものですが、最近ひな壇一揃百万円もするものも出てきて庶民には縁の遠いものになってきたような気がします。

3日の「ひなまつり」は百万円のひな壇は、トテモ、トテモで、せめて桃の花の一輪挿いで狂乱物価の中の春を味わいたいものです。(大)



統計ニュース

— 3月の行事 —

- | | | | |
|---------|--------------|------|------------|
| ○ 7～8日 | 教育統計調査ブロック会議 | ○19日 | 茨城県統計協会理事会 |
| ○18～19日 | 統計協会経営研究会 | ○26日 | 統計調査員問題研究会 |
| ○ // | 統計刊行物研究会 | ○27日 | 茨城県統計協会総会 |
| ○18日 | 第5次漁業センサス協議会 | | |